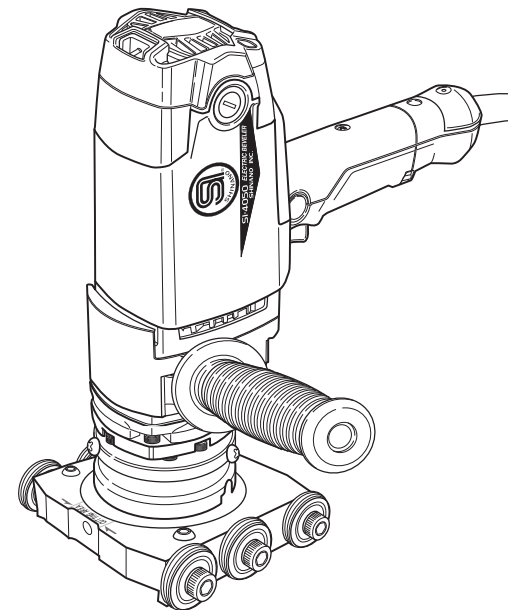


電動ビードカッター

SI-4090

取扱説明書



もくじ

■安全上のご注意	1～8
■各部の名称・仕様	9
■付属品・用途	10
■ご使用前の準備	11
■ご使用前の点検	12
■作業前の調整・操作方法	13～15
■保守と点検	16
■保証書	17



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

信濃機販株式会社

本社
〒175-0083 東京都板橋区徳丸1-20-17
<https://si-mark.co.jp>

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
 - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。

B) 電気に関する安全事項

1. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用しないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電するおそれがあります。

警告

3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
 - ・ 感電のおそれがあるので、ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

C) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、傷害事故が低減されます。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンになった電動工具の電源プラグを電源コンセントにさし込むと事故の原因になります。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・ 電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転して傷害のおそれがあります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つことで、予期しない状況でも適切に操作することが出来ます。
 - ・ 材料を動かして加工する製品を除き、クランプや万力などを利用し材料をしっかりと固定して加工してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

警告

6. きちんとした服装で作業してください。

- ・回転部に巻込まれるおそれがあるので、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ・屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

- ・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。ご使用前にお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
- ・保管、または修理する場合
- ・その他危険が予想される場合

4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。

- ・不慣れな方のご使用は危険です。

5. 電動工具の保守点検をしてください。

- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ・保守点検が不十分な場合、事故の原因になります。
- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- ・取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
- ・スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- ・電源コードは定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

警告

- ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- ・先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。

- ・指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。

8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがのおそれがあります。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
<異常・故障例>
 - ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・スイッチを入れても動かない。 等すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となるおそれがあるので使用しないでください。

警告

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
4. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・感電のおそれがあります。

電動ビードカッターご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、電動ビードカッターをご使用の際には、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

共通の安全警告:

- a) この電動工具は、ビードカッター(ビード切削工具)として設計されています。
 - ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
 - ・取扱説明書の安全警告を守らなかった場合、感電、火災またはけがの原因になります。
- b) この電動工具で、上記以外の作業は行わないでください。
 - ・上記以外で作業をすると、けがの原因になります。
- c) この取扱説明書で推奨している先端工具以外は使用しないでください。
 - ・電動工具に取り付けることができても、安全に作業ができないおそれがあります。
- d) 先端工具は、電動工具に適切に取付けることができるものを使用してください。
 - ・電動工具に合わない先端工具を使用すると、確実に固定できないため、異常な振動が発生したり、電動工具が思わぬ方向に反動するおそれがあります。

警告

- e) 破損した先端工具(チップ)は使用しないでください。
 - ご使用前に、先端工具(チップ)の欠けまたはヒビ割れ、または過剰な摩耗がないか点検してください。電動工具や先端工具を落とした場合は、損傷がないか点検して使用するか、または新しい先端工具を取付けてください。
- f) 作業者は、先端工具または加工品の小さな破片を遮断することができるフェースシールド、安全ゴーグルまたは保護メガネ、防塵マスク、耳栓(イヤーマフ)、手袋および作業用エプロンなど安全保護具を使用してください。
 - ・安全ゴーグルまたは保護メガネは、様々な作業で発生し飛散する破片から目を保護できるものを使用してください。大きな騒音で長時間さらされると、聴覚障害を引き起こすおそれがあります。
- g) 周囲の人を作業場に近づけないでください。作業場に近づく場合は作業者と同等の安全保護具を着用してください。
 - ・加工する材料または破損した先端工具の破片が飛び散って、周囲の人がけがをするおそれがあります。
- h) 電源コードに、回転中の先端工具を近づけないでください。
 - ・電源コードが切断されたりまたは引っかかったりして、手や腕が回転中の先端工具に引き込まれるおそれがあります。
- i) 先端工具が完全に停止してから電動工具を床に置いてください。
 - ・回転中の先端工具がゆかに引っかかり、電動工具が思わぬ方向に反動するおそれがあります。
- j) 電動工具が体の近くにある場合は、運転しないでください。
 - ・回転中の先端工具が衣服や装身具に引っかかり、回転中の先端工具に巻き込まれるおそれがあります。
- k) 電動工具の風窓は定期的に掃除してください。
 - ・風窓に溜まった金属粉じんを電動工具の内部に引き込み、感電するおそれがあります。
- l) 可燃性物質の近くでは、電動工具を運転しないでください。
 - ・電動工具または先端工具から生じる火花で、これらの物質を発火させるおそれがあります。
- m) 冷却液が必要な先端工具は使用しないでください。
 - ・水またはその他の冷却液を使用すると、感電のおそれがあります。

⚠ 警告

キックバックおよび関連警告：

キックバックとは、砥石、パッド、ワイヤブラシなどの先端工具が挟まったりまたはひっかかったりしたときに突然発生する、電動工具の意図しない反動です。先端工具は挟まったりまたはひっかかったりすると急停止し、電動工具は先端工具の回転と反対方向へ激しく押しやられます。

例えば、砥石が加工する材料にひっかかったりまたは挟まったりした場合、砥石が這い上がったり跳ね上がったりすることがあります。砥石は、挟まった時点の砥石の運動方向によって、作業者の方向または反対方向へ飛びます。このような場合は砥石が破損することもあります。

キックバックは、電動工具の誤使用または間違った操作により発生します。次の項目を守ることで、キックバックを回避することができます。

- a) 電動工具をしっかりと握り、キックバックを引き起こしたときに抵抗できるように身体および腕を構えてください。補助ハンドルが備わっている場合は、これを使用してください。
 - ・適切に操作することで、作業者はキックバックなどの不意な反動を抑制することができます。
- b) 回転中の先端工具に手を近づけないでください。
 - ・キックバックを引き起こしたときに回転中の先端工具でけがをするおそれがあります。
- c) キックバックを引き起こしたときに、電動工具が這い上がったり跳ね上がったりする方向に身体を置かないでください。
 - ・キックバックは、先端工具の回転方向と反対の方向へ工具を動かします。
- d) コーナー、鋭いエッジなどを加工するときは、先端工具が跳ねたりまたはひっかかったりしないよう特に注意してください。
 - ・コーナーや鋭いエッジ、凹凸のある材料を加工するときは、先端工具がひっかかり、キックバックなどの不意な反動を引き起こしやすくなります。
- e) チェンソータイプの刃物または丸ノコタイプ刃物の刃物を使用しないでください。
 - ・これらの刃物は、頻繁にキックバックを引き起こします。

その他の安全警告

- a) 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
- b) 使用中、本体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
- c) 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。

⚠ 警告

- d) 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- e) 誤って落としたり、ぶつけたときは、チップや本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- f) 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
 - ・発火したり、異常作動してけがの原因になります。

⚠ 注意

- a) 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。
- b) 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・本体を落としたときなど、事故の原因になります。
- c) 使用中は、本体の底面に手など身体をちかづけないでください。
 - ・けがの原因になります。
- d) スwitchを切った後も、チップはすぐに回転を停止させませんので注意してください。
 - ・手などが触れると、けがの原因になります。
- e) 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じて遮音壁をもうけるなどしてください。

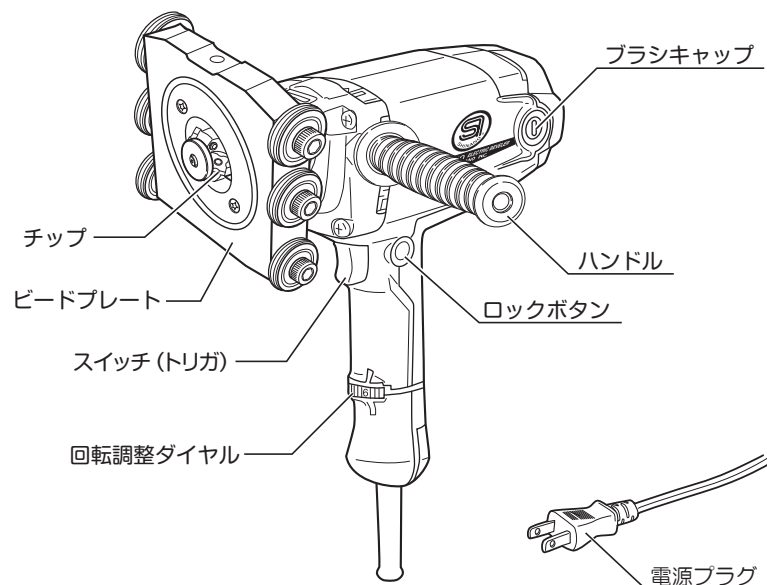
二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性がたかくなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

各部の名称・仕様

●各部の名称



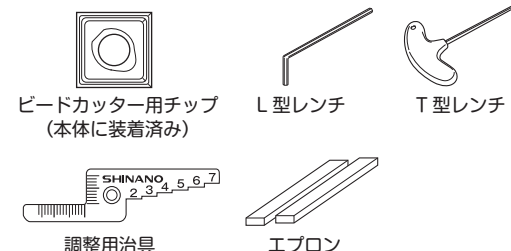
●仕様

・電 源	単相・交流100V 50/60Hz
・定格電流	11.7A
・消費電力	1,100W
・無負荷回転数	600~4,800min ⁻¹
・コード長さ	5m
・本体寸法	251×260×87mm
・質 量	4.5Kg(ハンドル含む)
・絶縁方式	二重絶縁

◆上記は当社基準に基づいた値です。

付属品・用途

- 付属品
 - ・ハンドル
 - ・T型レンチ
 - ・L型レンチ
 - ・ビードカッター用超硬チップ
 - ・調整用治具
 - ・エプロン



- 用途
 - ・溶接ビートの切削

- オプション(チップ)



ご使用前の準備

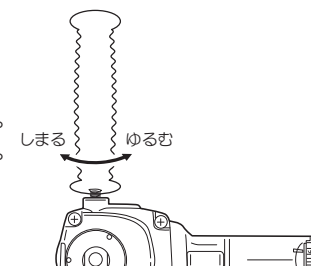
- 作業する場所に関して
 - ・作業する場所は整頓をし、明るくしてご使用ください。
- 漏電しゃ断器設置のすすめ
 - ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流が30mA以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。
- 延長コードを使用する場合

⚠ 警告	コードの太さ	最大の長さ
	・延長コードは損傷のないものを用意してください。	1.25mm ²
	2.0mm ²	30m

・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。
右表は使用できるコードの太さ(導体公称断面積)と、最大の長さです。
※延長コードを使用すると能力が低下します。

●ハンドルの取付け

- ・作業をする際は、ハンドルを取付けて使用してください。
- ・ハンドルはギヤケースの両側面に取付けることができます。作業に合った位置にしっかりと取付けて使用してください。ハンドルは右に回すと締まり、左に回すとゆるみます。



●チップの装着の確認

- ・装着していない場合は、チップの交換要領を参考に、取付けてください。
- ・装着してある場合もチップの摩耗や破損状態を確認してください。

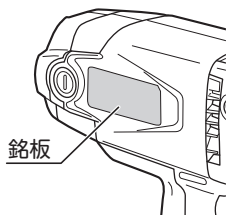
ご使用前の点検

警告

- ・ご使用前に次のことを確認してください。
 - ①～②項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。
- ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。不意に起動し思わぬ事故の原因になります。

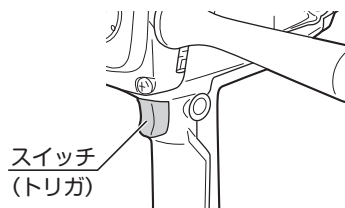
① 使用電源

- ・必ず銘板に表示してある電圧(100V)で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速となり、本体が破損するおそれがあります。また、直流電源で使用しないでください。本体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。



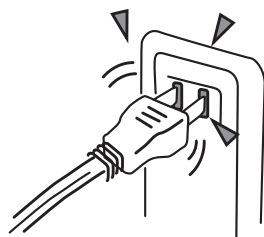
② スイッチ

- ・トリガの固定が解除され、スイッチが切れていることを確認してください。
- ・スイッチは、トリガを引くと入り、放すと切れます。トリガを放したとき、トリガが戻ることを必ず確認してください。



③ 電源コンセント

- ・電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントががたついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、事故や故障の原因になります。

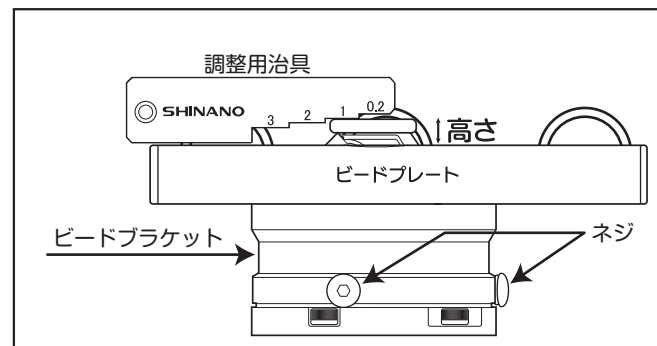


作業前の調整

●ビードの切削高さの調整方法

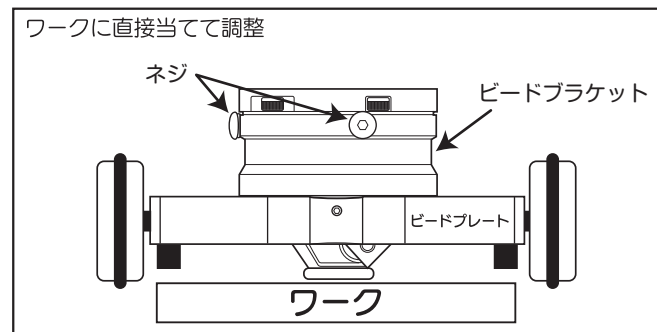
■調整治具を使用する場合

- ①ビードブラケットのネジを2か所緩めます。
- ②ツールをひっくり返します。
- ③ビードブラケットとビードプレートと一緒に回し、高さを調整します。
- ④調整用治具を使用する事により、大まかな高さを調整できます。
- ⑤高さが決まったら、ビードブラケットのネジを固定します。



■ワークに直接当てて調節

- ①ビードブラケットのネジを2か所緩めます。
- ②ワークとビードプレートの隙間を見て調節をする。
- ③ビードブラケットとビードプレートと一緒に回し、高さを調整します。
- ④高さが決まったら、ビードブラケットのネジを固定します。

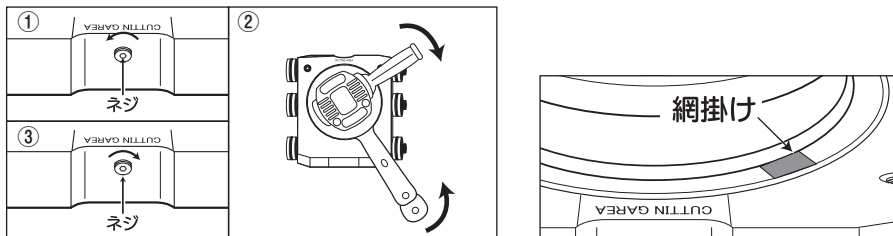


※正確な面取りを行う場合は、加工前にテスト加工をし面取り量および仕上り状態を確認してから使用してください。
※連続作業の場合は20分間以内で行ってください。
(モーターの焼き付きを防ぐため)

●ハンドルの位置調

高さを調整すると、ハンドルの位置が適切な位置にならない場合があります。下記、手順でハンドルの位置をお好みの位置に調整してください。

- ① ビードプレートのネジを緩める。
- ② ハンドルの位置を調整する。
- ③ ハンドルの位置を調整後、ネジを固定する。



※但し、ビードブラケットの網掛けの箇所は、チップ交換用の穴が開いている為固定できません。網掛け以外の箇所で固定してください。

操作方法

●スイッチの扱い方

⚠ 警告

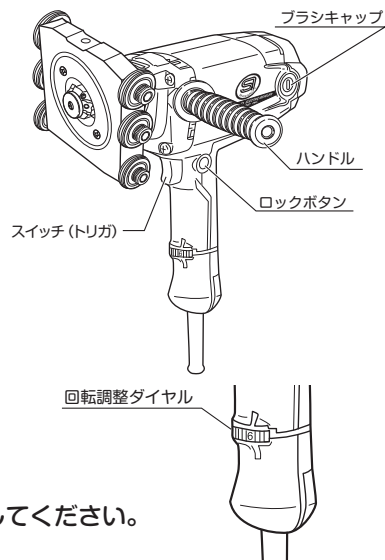
・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

・スイッチはトリガ（引き金）方式です。トリガを引くとスイッチが入り、放すと切れます。

（連続運転する場合）

・トリガをいっぱい引いた状態でロックボタンを押込みます。ロックボタンを押込んだまま、トリガから指を放すと、トリガが固定され連続運転になります。

・再度トリガを引くと固定が解除され、指を放すとスイッチが切れます。



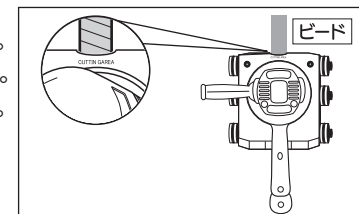
●速度調節

・速度調節はダイヤルを回転操作することにより1～6まで無段階に調節が可能です。

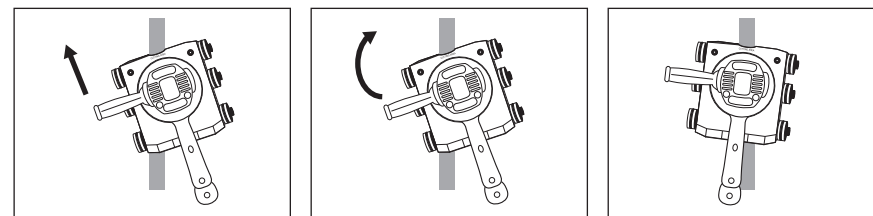
※回転調整ダイヤルは最高値の「6」で使用してください。

●作業手順

- ① 本機を動作させた状態で切削をはじめてください。
- ② 図の「CUTTING AREA」が切削範囲となります。範囲内にビードが収まるように操作してください。



- ③ 範囲内に収まらない場合は、2回に分けて作業してください。
- ④ ビードを途中から切削する場合は、下図のように斜めに切り込んでください。



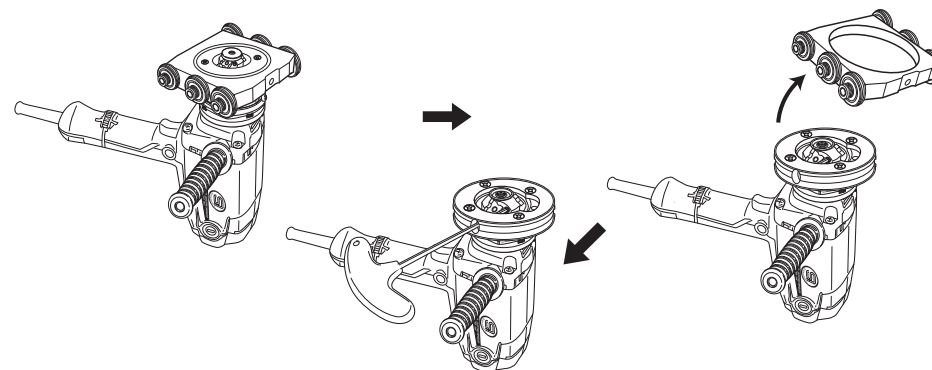
●チップの交換要領

⚠ 警告

チップの取付け、取り外し、切削尿調整の時は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

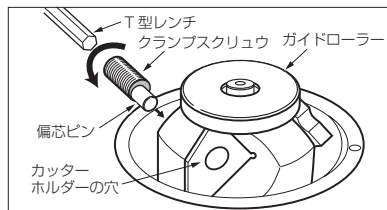
■チップの取り外し

- ① 本体を逆さに置きます。
- ② ビードプレートの側面にあるネジを十分に緩めます。
- ③ 側面のネジを緩めたらビードプレートを本体から外してください。
- ④ スライドリング側面にある穴からT型レンチをクランプナットに差し込んでください。
- ⑤ T型レンチを右に回して(逆ネジ方向)ロックを解除してください。
- ⑥ 残りの2個のクランプスクリューも同じ要領で外してください。



●チップの取付け

①カッターホルダーの穴にクランプスクリューをT型レンチで右に回して取付けます。取付位置は、クランプスクリューの偏心ピン部分だけ穴から出て、偏心ピンはカッターホルダーの穴の外側に位置するようにセットします。



②出ている偏心ピンにチップの穴を合わせます。



ピンだけ出た状態。
位置はホルダー穴の外側

チップ取り付け側・正面



穴の外側にピンを寄せ
て取り付ける

横から見た図



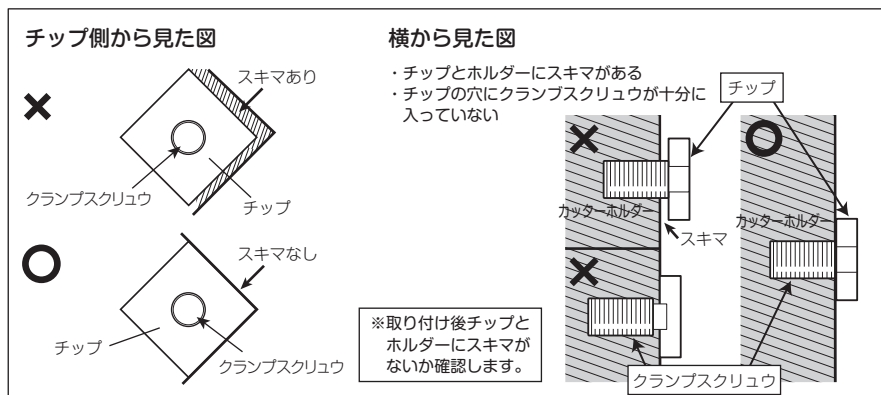
ネジ山が面いちになる
ように取り付ける

③クランプスクリューを左に回し、偏心ピンがカッターホルダー穴の内側にきて、チップがカッターホルダーにしっかりと押し付けられるようにロックします。



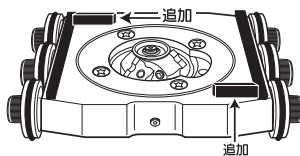
※T型レンチで回す方向が逆ネジ方向になっております。取り付ける場合は(左回し)取り外す場合は(右回し)です。

④取付け後、チップとカッターホルダーにスキマや浮きがないか確認します。



切子飛散防止

ツールに既に切子飛散防止ゴム(エプロン)が装着しておりますが、さらにお好みで追加できるように予備が付属しております。



警告

- ◆作業前に、超硬チップがカッターホルダーにしっかりと固定されているか確認してください。
- ◆作業時には絶対に回転部に触れないでください。
- ◆超硬チップ交換時、高さ調整時には必ず電源プラグを外してください。
- ◆作業時には切削カスが大量に発生します。必ず保護メガネ、マスク、手袋を着用してください。
- ◆多少の振動が伴いますので連続作業は避けることをお勧めします。

保守と点検

警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。絶対に分解したり修理
- ・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

●各部取付けネジの点検

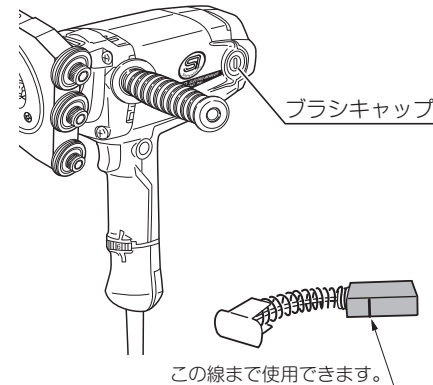
- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。

●使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためず。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。



●カーボンブラシについて

- ・カーボンブラシは消耗品です。カーボンブラシは全長の1/3(線の入った位置)程度に摩耗したら新しいカーボンブラシと交換してください。短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。カーボンブラシの交換は、ドライバーでブラシキャップを外して行ってください。カーボンブラシは2個1セットです。交換するときは指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。この時、カーボンブラシがブラシホルダー内でスムーズに動くことを確認してください

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

保証書

この度は、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください

モデル名	SI-4090	製造番号
お客様	お名前 ご住所	
	電話番号	
お買い上げ日	年 月 日	保証期間(納入後) 180日
販売店	取扱販売店・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
 - 工場のライン作業など、連続して長時間使用したことによる故障または損傷
 - 保管や手入れの不備による故障や損傷
 - リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
 - 水の侵入による故障または損傷
 - お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
 - 過剰な負荷で使用されて生じた故障または損傷
 - 天災、異常電圧などによる故障または損傷
 - 使用損耗および経時変化による外観の劣化(刃物の切れ味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど)
 - 本書のご提示がない場合
 - モデル名、お買い上げ年月日、販売店名の記入がない場合
 - 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
 - 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
 - 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬など付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失(休業経費、代替資材等、役務経費等)の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、使用の場合有効です。
- 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保存してください。

保証請求は

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、まずお買い上げの販売店にご連絡して下さい。
尚、無償保証かどうかの判断は誠に勝手ながら、弊社において判断させていただきます。何卒ご了承ください。

保証期間外は

お買い上げの販売店にご相談ください。
修理が可能で性能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理させていただきます。

お客様の個人情報は、上記目的以外には、一切使用いたしません。